

3:評価できる(80%以上) 2:概ね評価できる(50~80%) 1:課題があり改善が必要(50%以下)
記入にあたっての観点

1 学校の評価は妥当であるか。2 よいことや改善されていること 3 改善が必要なこと、意見、要望 など

番号	項目	評価項目	評価	学校関係者評価(意見、要望)	評価
1	教育目標の具現化	① 学校経営方針に沿った教育活動 ② 一学校一改革・・・時を守る～揃う・揃える～ 【所見】 小規模校の特性を活かした教育活動ができています。「『時』を守る」は、意識の変化が見られ、集合や掃除の取りかかりがよくなっている。	3	時を守ることはとても大切なことです。教師一人一人が自ら実践することが子供の実践につながるものと思われれます。「時を守る」は今後とも生活の上で遵守事項として必要であるので全員に自覚させる。	3.0
2	学習指導	① 少人数の指導の充実 ② ICT機器等による指導の工夫 【所見】 校内研修で表現力の育成に努めている。ICT機器はほぼ毎日活用し学習効果に繋げている。	3	ICTに関する教育は、今後の時代の要旨にマッチしたものだと考えられ、素晴らしい実践だと思います。継続して取り組んでいただきたい。 少人数指導は、目が行き届くので持てる力を十二分に発揮する。	3.0
3	生徒指導	① いじめ・不登校ゼロ ② 読書や体験活動による豊かな心の育成 【所見】 地域の見守りもあり、小規模校のよさを生かした餅米栽培、竹太鼓など、人材等も活用した体験活動ができた。不登校・いじめもなく落ち着いた学校生活を送っている。	3	体験活動の中で、好ましい人間関係の構築などを学んでほしいです。 ・ 優しい心を育てる。 ・ 人格を尊重する。 ・ いじめが人に与える影響を指導する。	3.0
4	安全管理	① 校内外事故ゼロ ② 施設点検及び修繕等の迅速な対応 【所見】 事故やけがの発生はない。施設は月1回全職員で定期的に安全点検を行い、事故の未然防止に努めている。	3	職員一人一人が危機意識をもって取り組んでください。気付き、すぐに実践してほしいです。 危険な場所に近づかないことと命の大切さを教える。 小田代側からの車が一旦停止する車が少なく一時停止するように何とかならない物か。	3.0
5	保健管理	① 疾病の早期治療 ② 体力向上 ③ 新型コロナウイルス感染症対策 【所見】 家庭と連携した感染症対策を今後も徹底していきたい。体力向上は、現在なわとびやランニングを行っている。粘り強く最後まで取り組む気力を向上させたい。	3	マスクの着用など、その都度繰り返し粘り強く指導することが大切だと思います。 手洗い・うがいの習慣を家庭でも実施するように下校後も運動している子供を見かける。	3.0
6	環境整備	① 整然とした教育環境(校舎内外) ・ 掲示物、緑化、校庭周辺の環境整備 【所見】 児童の作品掲示、整理整頓、草払いなど、よりよい教育環境づくりに努力してきた。地域の方の美化作業も大変ありがたい。	3	児童全員の作品が展示されており、向き合うと安心感がある。	3.0
7	開かれた学校づくり	① 学校だよりの発行、ホームページ・ブログ更新 ② 人材活用、地域行事への支援 【所見】 毎月1回の学校便り、ホームページやブログの計画的な更新など、情報発信に努めた。 学校支援ボランティアコーディネーターの協力により計画的な人材活用が、教育効果につながっている。	3	学校だよりは全戸に配布されており、学校や児童と接する機会のない人達も学校・児童の現状が分かりやすい。 学校だより等皆さんよく見ているようです。	3.0
8	職員の資質向上	① 研修計画に沿った研究 ② 信用失墜行為ゼロ 【所見】 外部の研修会への出席による指導技術の向上に繋がっている。交通事故・違反、ハラスメント、体罰による指導は発生していない。	3	資質向上と法令順守に努めてください。特に校区内では、速度を落として車を運転してほしいです。 仕事は厳しく、職場は楽しく。	3.0
9	業務改善	① 計画的・効率的な業務 ② 勤務時間の把握 【所見】 改善を意識しているが、成果として感じないところもある。引き続き効率化や簡素化に繋がる取組を考えていきたい。	3	働き方改革が言われています。難しい面もあるかと思いますが、引き続き取り組んでください。 相互の協力も必要。	3.0
	総合所見	学校では十分できない活動を学校支援ボランティアや放課後子ども教室による指導、美化作業等への協力など、地域の方の学校への思いに感謝しております。運動会では、3年ぶりに合同開催ができてよかったです。少人数のため学習発表会も、平日開催にかえさせていただきましたが、たくさんの参観を頂きました。来年度も地域の文化教育的拠点となるよう、家庭・地域と連携した教育活動に取り組んでいく所存です。	平均評価 3	学校は、地域住民にとって心の拠り所です。相互に連携を深めていきたいです。 何事も完全ではないことを自覚し、実践の中で体験する。 運動会での竹太鼓等大変よくできてました。	平均評価 3.0